

招かまる紙 鼓動する造形

二村純生

2026 7.14 [火] - 9.27 [日]

開館時間：午前9時～午後5時(入館午後4時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館)

観覧料：一般 200円

(有料入館者20名以上の団体は1人150円)

※豊田市内在住の18歳以下と70歳以上、豊田市内在住または豊田市内の高校に通学する生徒、身体障がい者手帳等の交付を受けている方は無料。(要証明書)

※他の減免については豊田市小原和紙のふるさとホームページをご覧ください。



⑥



ワークショップ「まい招き猫」



二村純生さんが漉いた小原和紙を素焼きの招き猫に貼って、一閑張の(張り子の)作品をつくります。

日時：①8月1日(土)午後1時30分～

②8月8日(土)午後1時30分～

※①、②は同じ内容を実施

会場：小原和紙のふるさと 和紙とうるし工房

料金：1,000円(材料費)

所要時間：2時間程度

定員：各回10人(先着順)

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

要申込：ご希望の日、氏名、参加希望人数、

電話番号を記載の上、

Eメールにてお申し込みください。

E-mail: washinofurusato@city.toyota.aichi.jp

受付開始：7月18日(土)午前10時～

※開始時刻前に受信した申込メールは無効

二村純生は、生き物を主なモチーフとした作品で知られる豊田小原和紙工芸作家です。和紙で器などの立体を作る伝統的な技法「一閑張(いっかんばり)」に、和紙の漉き込み技法を組み合わせた独自の手法で小原和紙工芸に新たな道を開き、表現の幅を大きく広げています。この手法で生み出された作品は生命感にあふれ、作品世界を巡ってみたいくなる魅力を放っています。本展では小原和紙工芸作品のほか、近年意欲的に制作している木彫作品などを紹介します。

豊田市小原和紙のふるさと

二村純生(ふたむら すみお)

1992 小原和紙工芸作家 山内一生氏に師事

2012 第一学習社 古典教科書表紙 作品掲載

2015 「メイド・イン・愛知 工芸の架け橋」古川美術館(名古屋)

2016 伊勢志摩サミット作品展示中部国際空港Pressゲート作品展示

2020 「愛知の工芸 2020」古川美術館(名古屋)



⑦



⑧

⑥ 漂う 2008

⑦ 古代の潮騒 2014

⑧ 出目金 2019

豊田市小原和紙のふるさと 小原和紙美術館

〒470-0562 豊田市永太郎町洞 216-1

Tel.0565-65-2151

https://www.washinofurusato.jp



交通案内 とよたおいでんバス：豊田市駅から上仁木行きで約60分、和紙のふるさと下車
車：東海環状自動車道 豊田藤岡ICから国道419号線を北へ約15km



招かまる紙

鼓動する造形

二村純生

Futamura Sumio



2026 7.14 [火] - 9.27 [日]

開館時間：午前9時～午後5時(入館午後4時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館)

豊田市小原和紙のふるさと 小原和紙美術館

〒470-0562 豊田市永太郎町洞 216-1

主催：豊田市小原和紙のふるさと



Futamura Sumio

思ったことを形にする。

いかに思い描いたことを形にするか。
これが、小原和紙に向き合い、創作してきた私の目指すところです。
作品の構想と実際に形になった作品には、しばしば隔たりが生じるものです。
心血を注いでも成り立たず、形にならないことさえあります。
しかし葛藤と試行錯誤の末、新たな表現を得られ、
造る喜びを感じられるとき、それは大きな糧となります。
この度、「拓かれる紙鼓動する造形」で、
観覧される皆様と共感できればと思っております。

二村純生



②



③



④



⑤



①

- ① 漂う 2012
- ② ハルキゲニア 2017
- ③ 童夢 2000
- ④ 高橋由一へのオマージュ 2020
- ⑤ 鯰 2024